

農業委員会だより



平成18年12月1日
田原市農業委員会

☎23局3519 / FAX22局3817

第8号

農業委員(議会推薦)の交替

新農業委員会委員



森山 和幸
若見町土手ノ内22
☎45局3036

(敬称略)

議会推薦により、森山和幸氏(若見町)が新たに委員に就任しました。任期はほかの委員同様、平成20年7月27日までとなります。

農業委員県外視察研修

平成18年10月29日から31日までの3日間、新潟県内で農業委員の県外視察研修を行いました。

まず初日に訪れたのは、新発田市の「とんとん市場」。相次いで大型店が出店される中、農業資材を扱う店に地元農家の直売所を併設させたり、多彩なイベントなどで市場をPRしたりするなど、地域に根付いた企業として生き残りをかける姿を視察してきました。

二日目は新潟市北農業委員会を訪問。農業委員会・市産業経済課・JA・県農業普及センター・共済組合が同居した「農業支援センター」の活動状況を中心に研修を受けまし

た。田原市でも営農支援センターを開設する予定ですが、窓口が一本化された農業支援センターの利便性の高さは、たいへん参考になりました。そして最終日、合併による広域化で農業委員が減少する中、その活動を補佐する「農事協力員」を配置している上越市農業委員会を訪問しました。ここでは、各集落に一人の農事協力員を配置。全部で763名という人数の多さに驚きました。



視察研修の感想

【A 農業委員】

視察を通じて感じたことは、田原市は東西の消費地に近く、本当に恵まれた地域だということ。「とんとん市場」を見学しましたが、非常にうまくいっていると感じ、田原市ももつとまうやれば...と思いました。田原市にはサンテパルクというりっぱな農業公園があります。その野菜売り場をもっと広げ、化学肥料、農薬を少なくした有機野菜を生産者の写真入りで売り出したりしたらどうでしょうか。

農業支援センター、上越市については、田原市より先進地であったため、今後の活動に向けて、かなり参考になりました。

あと、視察先でいつも感じるのが休耕地の少なさ。渥美半島ほど休耕地が多いところはないと思います。農業産出額が全国一と喜んでばかりられません。

【B 農業委員】

「とんとん市場」の直売所には、自作の野菜が豊富に並べられていました。一つ一つに名前やレシピなどの説明があったり、袋詰めにも気を使ってあったりと、熱心さを感じられました。野菜だけでなく、精肉、惣菜などもありましたが、一か所ですべての買い物ができたらもっと良いのではと思いました。

新潟市(農業支援センター)では、「農村女性の農業学習」や、経営参画の促進として「ニューライフ講座」などが行われていました。皆さんのがんばる姿を見ているうちに、私たちの活動にも方向が見えてきたような気がしました。

上越市では、男性委員の多い中、女性委員の果たす役割(少数派で意見が通りにくいところなど)について、あらためて考えさせられました。